

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成27年10月1日(2015.10.1)

【公表番号】特表2014-527532(P2014-527532A)

【公表日】平成26年10月16日(2014.10.16)

【年通号数】公開・登録公報2014-057

【出願番号】特願2014-526261(P2014-526261)

【国際特許分類】

C 07 C 271/56 (2006.01)

C 07 D 309/14 (2006.01)

A 61 K 31/351 (2006.01)

A 61 K 31/27 (2006.01)

A 61 K 31/164 (2006.01)

A 61 P 43/00 (2006.01)

A 61 P 29/00 (2006.01)

A 61 P 25/04 (2006.01)

A 61 P 37/02 (2006.01)

A 61 P 17/02 (2006.01)

A 61 P 25/02 (2006.01)

A 61 P 13/10 (2006.01)

A 61 P 11/14 (2006.01)

【F I】

C 07 C 271/56 C S P

C 07 D 309/14

A 61 K 31/351

A 61 K 31/27

A 61 K 31/164

A 61 P 43/00 1 2 1

A 61 P 43/00 1 1 1

A 61 P 43/00 1 0 5

A 61 P 29/00

A 61 P 25/04

A 61 P 37/02

A 61 P 17/02

A 61 P 25/02

A 61 P 13/10

A 61 P 11/14

【手続補正書】

【提出日】平成27年8月14日(2015.8.14)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

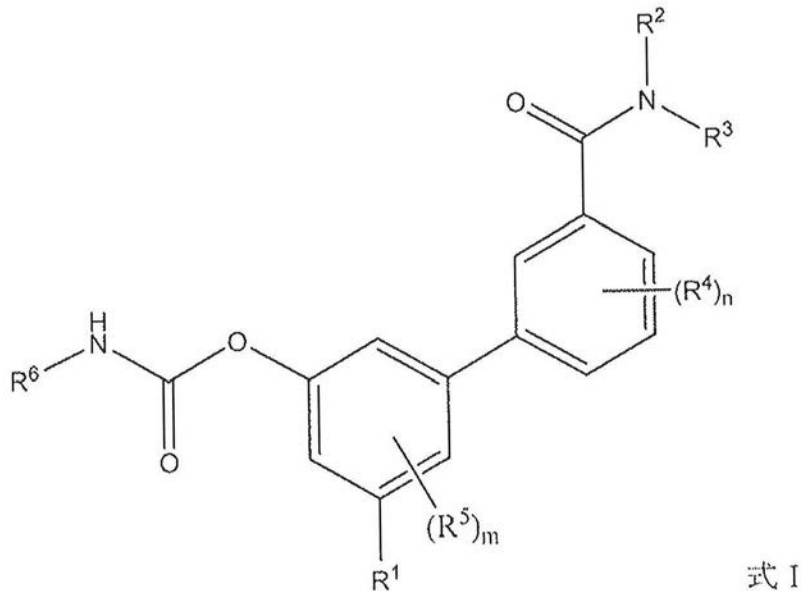
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

式：

【化 1】



(式中：

R^1 は、水素、ヒドロキシおよびその生理的に加水分解可能なエステル、 $-SH$ 、カルボキシおよびその生理的に加水分解可能なエステル、ヒドロキシル $-(C_1 - C_3)$ アルキルおよびその生理的に加水分解可能なエステル、 $-NR^7R^8$ 、および $-NH-SO_2R^9$ からなる群から選択され； R^7 および R^8 は独立して水素または $(C_1 - C_3)$ アルキルから選択され、 R^9 は水素、メチル、エチル、トリフルオロメチルまたはトリフルオロエチルから選択され；

R^2 および R^3 は独立して水素および置換または非置換 $(C_1 - C_3)$ アルキルからなる群から選択され；

各 R^4 は独立して水素および置換または非置換 $(C_1 - C_3)$ アルキルからなる群から選択され、 n は0から4までの整数であり；

各 R^5 は独立して水素、ハロゲン、ヒドロキシおよびその生理的に加水分解可能なエステル、カルボキシおよびその生理的に加水分解可能なエステル、ヒドロキシル $-(C_1 - C_3)$ アルキルおよびその生理的に加水分解可能なエステル、 $-(C_1 - C_3)$ アルコキシ、または $-NR^{20}R^{21}$ であり； R^{20} および R^{21} は独立して水素または $(C_1 - C_3)$ アルキルから選択され；

m は0から3までの整数であり；

R^6 は非置換もしくは置換シクロヘキシル、シクロペンチル、シクロブチルまたはテトラヒドロピラン $-4-イル$ である)
を有する化合物、またはその薬学的に許容可能な塩。

【請求項 2】

R^2 および R^3 がそれぞれHである、請求項 1 に記載の化合物。

【請求項 3】

m および n がそれぞれ0である、請求項 1 または 2 に記載の化合物。

【請求項 4】

R^1 がヒドロキシ、カルボキシ、またはヒドロキシメチルである、請求項 1、2、または 3 に記載の化合物。

【請求項 5】

R^6 が非置換である、請求項 1、2、3、または 4 に記載の化合物。

【請求項 6】

R^6 がシクロヘキシルである、請求項 1、2、3、4、または 5 に記載の化合物。

【請求項 7】

R^1 がヒドロキシまたはアルコール基またはヒドロキシルもしくはアルコール基の生理

的に加水分解可能なエステルである、請求項 1 に記載の化合物。

【請求項 8】

前記生理的に加水分解可能なエステルが、式 $-OC(O)R^{10}$ 、 $-CH_2OC(O)R^{10}$ または $-CH_2CH_2OC(O)R^{10}$ であり、式中、 R^{10} が置換または非置換ヒドロカルビルである、請求項 7 に記載の化合物。

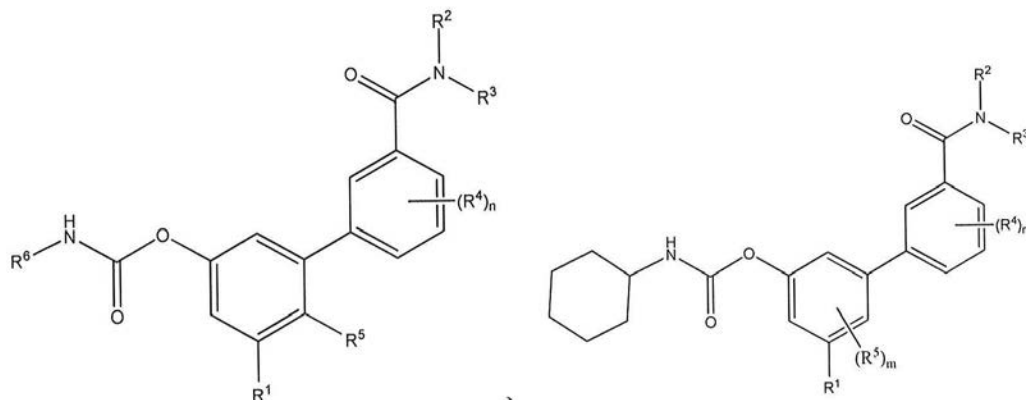
【請求項 9】

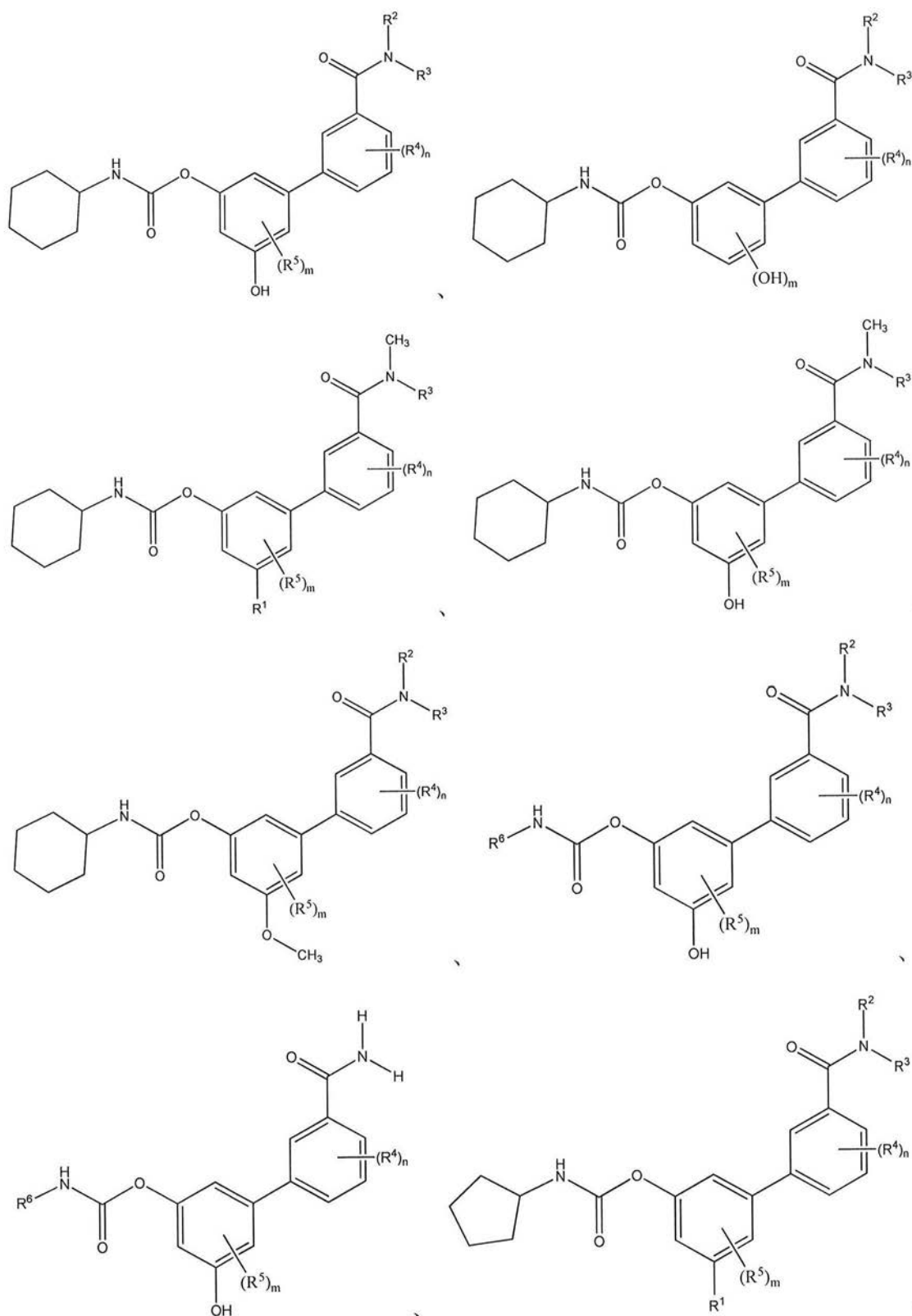
R^1 が $-C(O)OR^{10}$ であり、 R^{10} が水素または置換もしくは非置換ヒドロカルビルである、請求項 1 に記載の化合物。

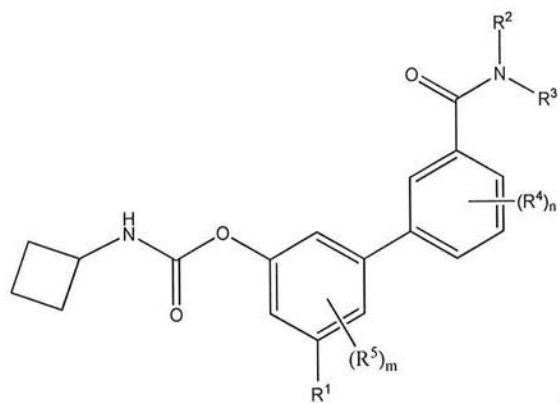
【請求項 10】

化合物が以下の構造：

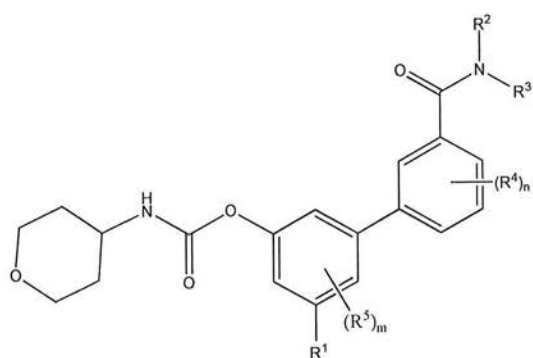
【化 2】







、または

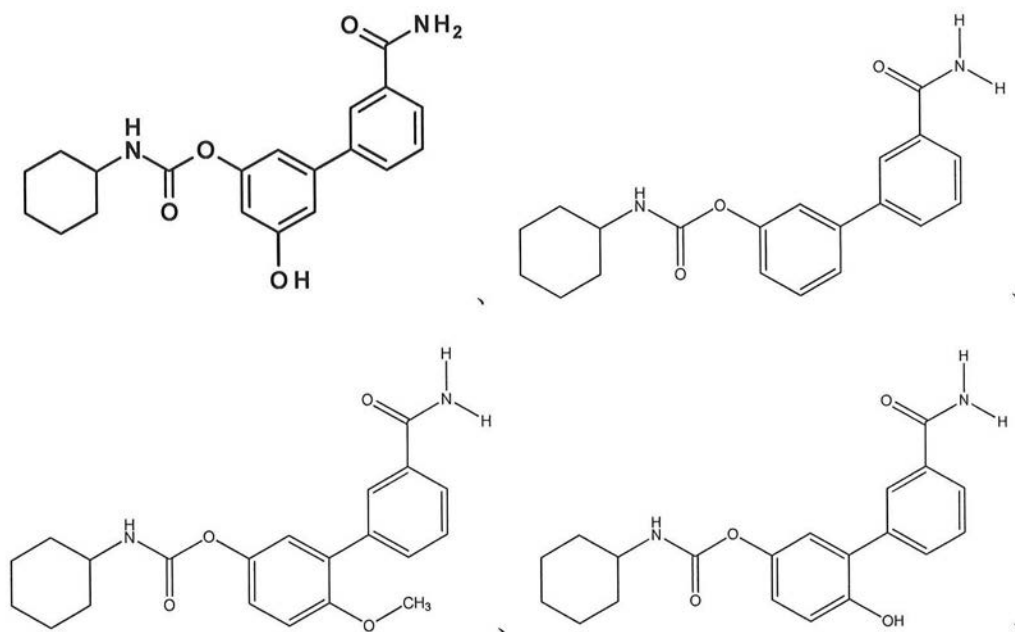


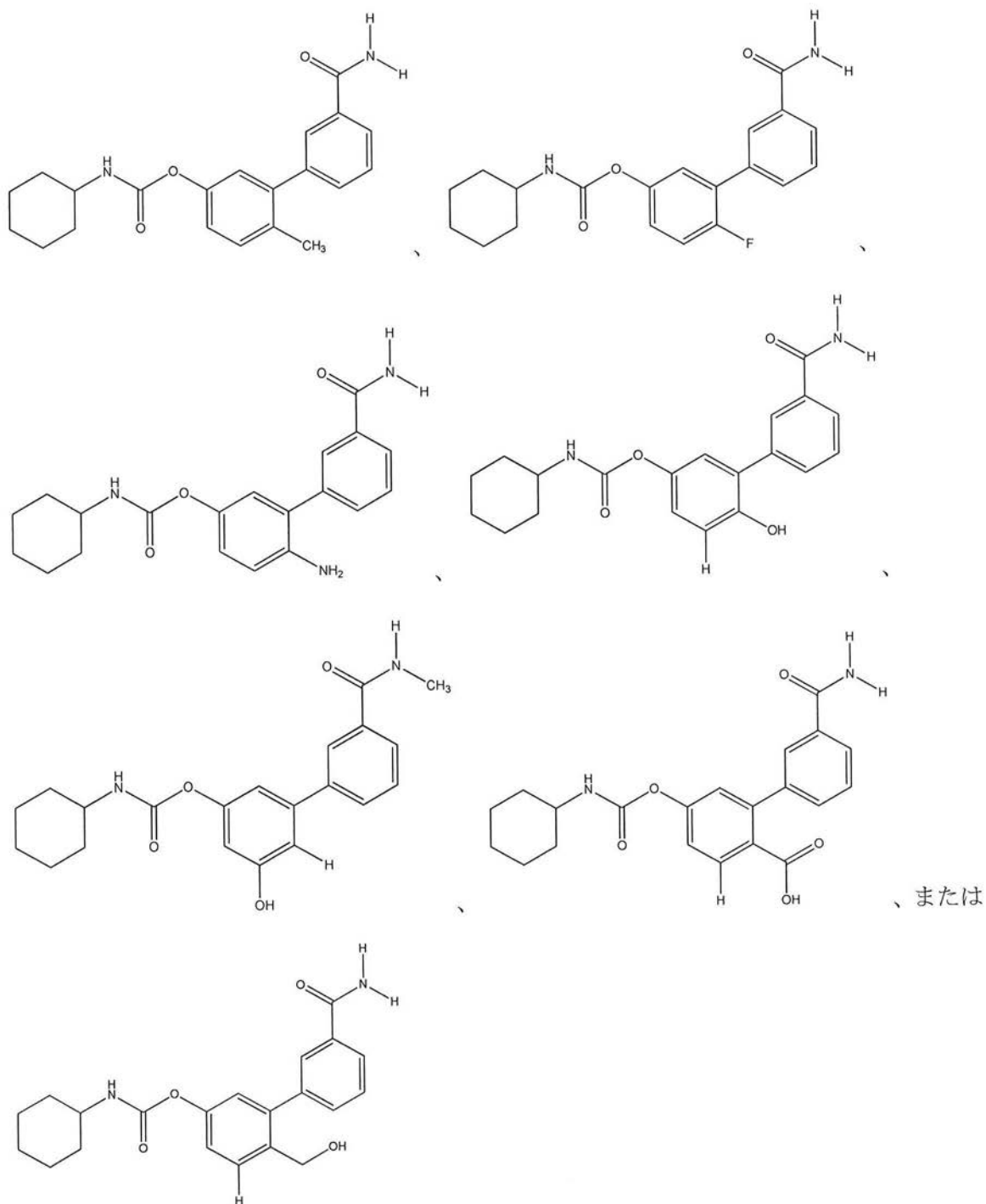
を有する、請求項 1 に記載の化合物。

【請求項 1 1】

化合物が以下の式：

【化 3】





を有する、化合物またはその薬学的に許容可能な塩。

【請求項 1 2】

請求項 1 ~ 1 1 のうちいずれか 1 項に記載の化合物を含む、医薬組成物。

【請求項 1 3】

請求項 1 ~ 1 1 のうちいずれか 1 項に記載の化合物を含む医薬組成物であって、F A A H の阻害を必要とする哺乳類で F A A H を阻害するための医薬組成物。

【請求項 1 4】

末梢脂肪酸アミド加水分解酵素 (F A A H) を選択的に阻害する医薬組成物であって、前記組成物が、請求項 1 ~ 1 1 のうちいずれか 1 項に記載の化合物を含む、医薬組成物。

【請求項 1 5】

疼痛、炎症、および免疫異常から選択される症状を治療する医薬組成物であって、前記組成物が、請求項 1 ~ 1 1 のうちいずれか 1 項に記載の化合物を含む、医薬組成物。

【請求項 16】

請求項 1 ~ 11 のうちいずれか 1 項に記載の化合物を含む医薬組成物であって、アナンダミド、オレオイルエタノールアミド（OEA）、パルミトイルエタノールアミド（PEA）、またはステアロイルエタノールアミド（SEA）の末梢レベルを哺乳類において増加させるための医薬組成物。

【請求項 17】

皮膚炎、粘膜炎、または末梢感覚ニューロンの過剰反応、神経皮膚炎、過活動膀胱、または咳から選択される症状を治療するための医薬組成物であって、前記組成物が請求項 1 ~ 11 のうちいずれか 1 項に記載の化合物を含む、医薬組成物。

【請求項 18】

薬学的に許容可能な賦形剤をさらに含む、請求項 12 ~ 17 のいずれか一項に記載の医薬組成物。